

令和3年（2021年）

# 釧路広域連合議会会議録

令和3年10月18日開会  
令和3年10月18日閉会

10月定例会

第2回10月定例会

釧路広域連合議会



---

令和3年第2回10月定例会

釧路広域連合議会会議録 索引

会期 自令和3年10月18日 至令和3年10月18日 1日間

---

10月18日（月）第1日

議事日程	1
会議に付した案件	1
出席議員（20人）	1
欠席議員（1人）	1
本会議場に出席した者	1
議会事務局職員	1
開会宣告（午後1時59分開会）	1
諸般の報告	
日程第1 議席指定の件	2
会議録署名議員の指名（川村真一議員、工藤正志議員）	2
日程第2 会期決定の件	2
広域連合長の発言	2
日程第3 議案第4号上程	2
提案説明	
伴事務管理者	2
質疑・一般質問	
工藤正志君	3
蝦名広域連合長	3
入江事務局長	3
議案第4号表決討論省略	
表決	5
・議案第4号表決（認定）	5
閉会宣告（午後2時26分）	5
署名	6
付録	
10月定例会議決結果表	7
質疑・一般質問通告一覧表	8
議席表	9
10月定例会議事経過	10



令和3年第2回10月定例会

釧路広域連合議会会議録 第1日

令和3年10月18日（月曜日）

議事日程

- 午後1時59分開議  
日程第1 議席指定の件  
日程第2 会期決定の件  
日程第3 議案第4号上程

会議に付した案件

- 1 開会宣言  
1 諸般の報告  
1 日程第1  
1 会議録署名議員の指名  
1 日程第2  
1 広域連合長の発言  
1 日程第3

出席議員（20人）

議長	21番	松 永 征 明 君
副議長	9番	中 田 磨 君
	1番	吉 田 保 博 君
	3番	高 橋 正 秀 君
	4番	高 砂 弥 生 君
	5番	立 石 巧 君
	6番	山 吉 公 徳 君
	7番	音喜多 政 東 君
	8番	桂 川 実 君
	10番	川 村 真 一 君
	11番	伊 東 尚 悟 君
	12番	続 木 敏 博 君
	13番	松 原 慶 子 君
	14番	大 越 拓 也 君
	15番	草 島 守 之 君
	16番	松 尾 和 仁 君
	17番	秋 田 慎 一 君
	18番	岡 田 遼 君
	19番	工 藤 正 志 君
	20番	宮 田 団 君

欠席議員（1人）

2番 及 川 満 浩 君

本会議場に出席した者

広域連合長	蝦 名 大 也 君
副広域連合長	小 松 茂 君
副広域連合長	大 石 正 行 君
副広域連合長	棚 野 孝 夫 君
副広域連合長	徳 永 哲 雄 君
副広域連合長	若 狭 靖 君
事務管理者	伴 篤 君
監査委員	田 中 敏 也 君
事務局長	入 江 義 信 君
事務局副主幹	木 村 淳 一 君

議会事務局職員

議会事務局長	石 井 康 司 君
議事課長	久万田 文 代 君
議事課長補佐	鈴木 紀 子 君
議事課総務担当主査	徳 田 康 浩 君

午後1時59分

開会宣告

- 議長松永征明君 皆さんご苦労さまです。  
出席議員が定足数に達しておりますので、令和3年  
第2回釧路広域連合議会10月定例会は成立いたしました。

よって、これより開会いたします。直ちに会議を開  
きます。

事務局長に諸般の報告をさせます。

諸般の報告

- 議会事務局長石井康司君 報告をいたします。  
ただいまの出席議員は、20人です。  
なお、及川満浩議員より、所用のため欠席する旨、  
届出がありました。

今議会に連合長から提出された議案は、議案第4号  
であります。

次に、監査委員から、地方自治法第235条の2第3  
項の規定に基づき、例月現金出納検査報告書の提出が

ありました。

次に、本日の議事日程は、日程第1、議席指定の件、日程第2、会期決定の件、日程第3、議案第4号であります。

以上で報告を終わります。

---

#### 日程第1 議席指定の件

○議長松永征明君 日程第1、議席指定の件を議題といたします。

新議員の選出に伴い、会議規則第4条第1項の規定により、議席を指定いたします。

お諮りいたします。

議席は、既に配布しております議席表のとおり指定いたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長松永征明君 ご異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

---

#### 会議録署名議員の指名

○議長松永征明君 会議録署名議員の指名を行います。

今定例会の会議録署名議員は、会議規則第96条の規定により、

10番 川 村 真 一 議員

19番 工 藤 正 志 議員

を指名いたします。

---

#### 日程第2 会期決定の件

○議長松永征明君 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今会期は、本日1日間といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長松永征明君 ご異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

---

○議長松永征明君 この際、連合長から発言を求められておりますので、これを許します。

連合長。

---

#### 広域連合長の発言

○広域連合長蝦名大也君（登壇） よろしくお願ひいたします。発言のお許しをいただきましたので、一言、ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、時節柄ご多用の折、本日本、ここにお集まりをいただき、令和3年第2回鉦路広域連合議会10月定例会を開催できましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、本連合清掃工場は、本年4月より、令和18年3月までの15年間を契約期間といたしまして、第2期目の長期包括委託が始まっております。

また、昨年度に引き続き、清掃工場の安定的な焼却処理を継続するため、令和5年度までの期間で、基幹的設備改良工事により、延命化に取り組んでいるところでございます。

構成市町村の円滑な連絡調整が図られるなか、順調に稼働を続けており、排ガスなどの環境基準も十二分に達成されておりますことから、安全で安定した運営体制が確立されているものとこのように考えております。

次に、令和2年度のごみ処理状況についてであります。ごみの総搬入量でございます。

総搬入量は、厚岸町の前倒し受け入れ分を含めて、62,845.82トンとなっております。前年度との比較では、67.61トン、0.11パーセントの減少となっております。

市町村別では、鉦路市、鉦路町、弟子屈町は若干減少し、白糠町と鶴居村は微増となっております。

次に、資源循環の取組み状況についてであります。当清掃工場では、廃熱を利用して廃棄物発電を行っており、工場で使用する電力の大半をまかなった上、余剰電力の売電を行っております。

これによりまして、昨年度は、1億7,359万円ほどの収入を上げてございます。

経過等につきましては以上でございます。

この後、議案といたしまして、「令和2年度鉦路広域連合一般会計決算認定の件」について、ご審議をいただくこととなっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、当広域連合の業務執行にあたりましては、安全、安定的な運転管理に努めるとともに、構成市町村の負担金の抑制につながるよう、なお一層の効率的で経済的な運営を心がけ、最善の努力をしまっている所存であります。

今後とも、議員各位、並びに関係住民、町村長の皆様方の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

---

#### 日程第3 議案第4号上程

○議長松永征明君 日程第3、議案第4号を議題といたします。提案理由の説明を求めます。

件事務管理者。

---

#### 提案説明

○事務管理者 篤君（登壇） ただいま、議題に供されました案件につきまして、提案の理由をご説明申し上げます。

議案第4号「令和2年度鉦路広域連合一般会計決算

認定の件」につきましては、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、令和2年度釧路広域連合一般会計決算を議会の認定に付そうとするものであります。

以上をもちまして、案件に対する説明を終わります。よろしくご審議の上、原案どおりご承認くださいますようお願い申し上げます。

#### 質疑・一般質問

○議長松永征明君 これより質疑並びに一般質問を行います。

19番工藤正志議員の発言を許します。

○19番工藤正志君（登壇） 質問通告を2件行っておりますので、順次質問をさせていただきます。

1件目は、議案第4号令和2年度釧路広域連合一般会計決算認定の件についてであります。「ごみ発熱量改善資材購入費」について、令和2年度において、なぜ発熱量改善資材を入れる状況なのか、そして例年と比べて令和2年度はどのような違いがあったのかをお伺いしたいと思います。

2件目は「釧路広域連合清掃工場のCO<sub>2</sub>削減」についてお伺いをいたします。

2050年CO<sub>2</sub>排出実質ゼロに向けた取組みについて、菅前首相は、一昨年、2019年10月の所信演説で、「2050年までに日本の温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにする」と表明をしました。この時に同じころ、ゼロにすると表明した国は、世界で120カ国を超えています。

また、2021年4月の地球温暖化対策推進本部の会合で、「温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）の排出を、2013年度比46%の削減を目指す」と表明し、さらには「50%の高みに向けて挑戦を続ける」と発言をされました。これは6年前の26%削減目標に比べて、大幅な目標の引き上げであり、オンラインで開催された「気候変動サミット」でも表明されました。アメリカも50%から52%に削減をすると、削減目標の引き上げを表明し、CO<sub>2</sub>削減による地球温暖化防止にむけて、世界中での早急な対応が今、求められております。

そこでお伺いいたしますが、直近3年間の、釧路広域連合清掃工場のCO<sub>2</sub>排出量（二酸化炭素排出量）が、どの程度工場から排出されたと認識をされておられるのか、お伺いしたいと思います。

以上で1回目の質問と致します。

○議長松永征明君 理事者の答弁を求めます。連合長。

○広域連合長蝦名大也君（登壇） 釧路市工藤正志議員のご質問にお答えをします。私からは、二酸化炭素の排出量について答弁させていただきます。

広域連合では、平成30年に釧路広域連合地球温暖化対策実行計画を策定いたしまして、2030年度までに二

酸化炭素排出量40%削減を目標にいたしまして、各種の削減対策に取り組んでいるところでございます。ご質問の直近3カ年の二酸化炭素の総排出量でございます。平成30年度が約30,900トン、令和元年度が約27,000トン、令和2年度が約23,900トンとこのように年々減少しているところでございます。

これは、構成市町村におきますご協力、こういったものの効果があがってきているものと、このように考えてございます。私からは以上です。

○議長松永征明君 事務局長。

○事務局長入江義信君（登壇） 広域連合事務局長の入江です。本日の議会が初めての答弁となります。よろしくお伺いいたします。

私から工藤正志議員のご質問にお答えいたします。

ごみ発熱量改善資材の使用についてのご質問でございます。

当清掃工場では、ダイオキシン類の発生防止とともに、焼却残渣埋め立て処分量の削減を図るため、焼却と同時に灰分の熔融処理を行っており、炉内温度を1300度の高温に保持する必要があります。

焼却ごみの発熱量が低い場合には、ごみの熱エネルギーだけでは炉内温度を保持することが難しくなるため、助燃が必要となり、灯油使用量の増大が問題となったところであります。

このため、発熱量改善資材を用いたごみ質の調整改善を行うことで、灯油使用量を削減し、変動費の抑制を図ってきたところであります。

令和2年度に於いても前年度とほぼ同量の発熱量改善資材を購入しております。私からは以上でございます。

○議長松永征明君 19番工藤正志議員。

○19番工藤正志君（登壇） ご答弁いただきました。2回目の質問に入りたいと思います。

本来、集めてきて搬入したごみをそのまま燃やすだけではなく、こうしたごみ発熱改善資材を入れてその資材に、年間1千万円以上も費やし、ダイオキシン類等を出さないようにするために、そして先ほどもありました炉の温度を1300度以上に上げるために多額の費用を使うということは、本来のごみだけを焼却するという目的からは大きくズレてしまうものではないかというふうに考えます。

こうしたごみ発熱改善資材を投入するにあたって、水分の少ないごみへの改善はされてきているのか、いないのか、これが改善されないために発熱改善資材が増えてきているのか、増えてきていないのか、再度お聞きをしたいと思います。

CO<sub>2</sub>の削減についてお伺いいたします。

先ほど、令和2年度で二酸化炭素の排出量が23,900トンあるということでもありましたし、地球温暖化に向けた取組みもやっているという答弁もありました。

国は、2030年に2013年度比46%減、そして2050年にむけて実質ゼロを目指しておりますが、世界では2030年までにEUで55%、イギリスで68%、アメリカが50～52%の削減をめざしております。

釧路広域連合清掃工場におきましても、2030年までのあと9年間で46%の削減、2050年までに実質CO<sub>2</sub>ゼロを今後は進めていく必要があるのではないかと、いうふうに考えますが、工場でのCO<sub>2</sub>の排出を減らす考えは持っておられるのか、例えば敷地内に植林をしてCO<sub>2</sub>を吸収するような事業のお考えはあるのかどうか、そのためにどう目標を設定するべきと考えているか、お聞きしたいと思っております。

以上で2回目の質問といたします。

○議長松永征明君 理事者の答弁を求めます。

連合長。

○広域連合長蝦名大也君（登壇） 工藤議員の第2質問にお答えをいたします。

まず、二酸化炭素排出抑制といったものの意識をもっているのかということでありまして、先ほどもお答弁させていただいたとおり、連合では2030年度までに40%削減という地球温暖化対策実行計画、これを行っているところでありますので、そういった方針のなかで物事は進めているということはお理解いただいているものと、このように考えてございます。

そのうえで、2050年度までのゼロ、これをどのような形で進めていくのかということにつきましては、国の方でこれからいろんな示しが出てくると、考えているところでありまして、私どもは当然CO<sub>2</sub>の排出抑制に、取り組んで行くことが必要なことと、このように考えてございます。

そのうえでご提案にございました植林という部分でございます。これは色々なかたちのなかで、木を植えていくということが効果があるということは、これはおっしゃる通りであります。森林というかたちで整備をしていくなかでのCO<sub>2</sub>吸収源のカウントという形になっていきますので、街の緑化でありますとか、敷地内に木を植えるということと、CO<sub>2</sub>吸収源カウントということは繋がらない。ただ緑を増やす効果はあるかというふうに思っております。そのなかで、例えばこの清掃工場の周りの敷地に木を植えていくという行為はCO<sub>2</sub>吸収源のカウントとはならないということはお理解いただけたと思います。

ご質問は、CO<sub>2</sub>の排出抑制に清掃工場として広域連合としてどのように取り組むか、ということでございますので、そういった意味では計画をしっかりとまず進めて、今後のそういった様々な指示、指導をこういったものを受けながら対応していく形になるとこのように考えてございます。

○議長松永征明君 事務局長。

○事務局長入江義信君（登壇） 私から工藤議員の

2回目のご質問にお答えします。

ごみ発熱量改善資材を使用するにあたっての、水分の少ないごみへの改善等々のご質問でございます。

ごみ発熱量の低い状況は、プラスチック製容器包装の資源化や、水分量の多いごみが搬入されていることなどが、原因となっております。

このため、当清掃工場では、夏場に多量に搬入されます、水分量の多い事業系刈草を堆肥化処理することで、焼却ごみの発熱量の低下を防ぎ、一定の効果をあげてきているということでございます。私からは以上でございます。

○議長松永征明君 19番工藤正志議員。

○19番工藤正志君（登壇） それでは3回目、最後の質問に入りたいと思っております。

議案第4号につきましては、毎年1千万円を超えるごみ発熱量改善資材を購入し、それを使用するということは、やはり決算の上では課題が多いものというふうに私たちは考えております。

こうした燃焼主義からの脱却が今も求められており、今後ごみを焼却して処理を続けていくということは、気候変動等の問題にもつながり、課題があるというふうに考えております。

こうした令和2年度のCO<sub>2</sub>を含む環境への負荷について、広域連合としてどのようにお考えになっているのか、最後に考えを伺いまして、この質問は終わりたいと思っております。

CO<sub>2</sub>の削減につきましては、私たち日本共産党は、2030年で2013年に比べCO<sub>2</sub>を最大60%までの削減を現在求めております。まずは国の46%を目指し、いずれ近い将来60%の削減を引き続き求めていきたいと思っております。

また国連のSDGs（エスディーゼーズ）の13番におきましても「気候変動に具体的な対策を」と、国内でも世界でも気候変動に対する取り組みが今大規模に進められております。

今は世界の気候危機として、異常な豪雨、森林火災、海面上昇など、すでに気候危機の被害は世界でもきわめて深刻な事態になっており、直近ではここ釧根地域でも「赤潮」が発生し、猛暑によって海水温が上昇したことが原因ではないかとの報道もなされており、地球温暖化が急速に進行していると言われております。

こうした気候危機を少しでも小さくしていくために、CO<sub>2</sub>の排出を今後9年間で半分近くまで削減できるかどうか、今後人類、そして子どもたちへの未来が、かかっているといっても過言ではないと思っております。

最後にこうした気候変動・気候危機に対して何ができるのか、広域連合のお考えを伺いまして、私の質問を終わりたいと思っております。



○議長松永証明君 理事者の答弁を求めます。  
連合長。

○広域連合長蝦名大也君（登壇） 工藤議員の再質問にお答えをさせていただきます。

理念的というか、そういう部分についてのご質問というふうを受け止めているところでございます。そのなかで質問がありましたSDGs、持続可能な開発目標というものでございますけれど、17項目の目標の一つ一つが大事であるということと同じように、全体が一緒であって、やはりキーワードというのは持続可能ということになってくると考えてございます。まさにこの一つ一つということをしっかり踏まえていながら、トータルでものごとを見ていくのが重要なことだとこのように考えているところでございます。

そのなかで、環境ということに関しましては、釧路市のことで大変恐縮ではございますけど、総合計画のなかに環境ということタイトルに掲げた、正に日本のなかでは最も早くに環境という言葉総合計画のなかに盛り込んだ自治体であると、このように認識しているところでございます。

こういった意味で、この自然環境の恵を与えられているということ意識していきながら、進めていくわけございまして、これは釧路市のみならず管内、この東北海道全体が、そういった意識のなかで進めているものとこのように考えてございます。そのなかで、どのような形で、しっかりと地域住民の生活を守りながら進めていくか、といったことを総合的にしっかりと踏まえながら、SDGsの目標をクリアするように取り組んでまいりたい、このように考えてございます。

この後、事務局長からもご答弁させていただきますけど、CO<sub>2</sub>のほかにダイオキシン類といったものもあるわけでありまして。ダイオキシン類を発生させないため、燃焼温度を高くしていくなど、私どもはしっかりとした対応というのを取らなければいけないということでもありますので、そういった意味では全体をしっかりと踏まえて、私どものなかでできることを進めていながら、この恵まれた環境というものを守り、また活性化を図っていく、これが重要な事だとこのように考えてございます。私からは以上であります。

○議長松永証明君 事務局長。

○事務局長入江義信君（登壇） 私から工藤議員の3回目のご質問にお答えいたします。

令和2年の焼却処理に伴う環境負荷についてどのように考えているか、というご質問でございます。

ごみ焼却処理に伴う環境負荷としては、ダイオキシン類や大気汚染物質の排出、焼却残渣の埋め立て負荷、温室効果ガスの排出などがございます。

このため、当清掃工場では、排ガス処理設備による有害物質の除去、灰分の溶融処理による焼却残渣の発生量削減に取り組んでいるところでございます。

温室効果ガスの排出についても、ごみの焼却に伴うものが大半であるため、構成市町村と連携しながら、焼却ごみ量削減の取組みを進めてまいる考えでございます。私からは以上でございます。

○議長松永証明君 以上をもって質疑並びに一般質問を終結いたします。

#### 議案第4号討論省略

○議長松永証明君 この際、お諮りいたします。議案第4号について、討論の通告がございませんので、討論を終結し、直ちに採決に入ることにご異議ございませんか。

〔「意義なし」と呼ぶ者あり〕

○議長松永証明君 ご意義なしと認めます。よって、直ちに採決を行います。

#### 議案第4号表決（認定）

○議長松永証明君 議案第4号 令和2年度釧路広域連合一般会計決算認定の件を採決いたします。

本案を認定と決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔起立多数〕

○議長松永証明君 起立多数と認めます。よって、本案は認定と決しました。

#### 閉会宣告

○議長松永証明君 以上をもって今議会の日程は、すべて終了いたしました。

令和3年第2回釧路広域連合議会10月定例会は、これをもって閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

午後2時26分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

釧路広域連合議会 議長 松 永 征 明

同 議員 川 村 真 一

同 議員 工 藤 正 志

## 令和3年第2回釧路広域連合議会10月定例会議決結果表

会期自 令和3年10月18日

至 令和3年10月18日

（1日間）

釧路広域連合議会議長 松 永 征 明

議案番号	件名	提出者	議決年月日	議決結果
議案第4号	令和2年度釧路広域連合一般会計決算認定の件	連合長	3. 10. 18	原案認定

## 議会に報告されたもの

報告番号	件名	提出者	報告年月日	報告結果
釧広連監 報告第3号	例月現金出納検査報告書	監査委員	3. 10. 18	報告完了

令和3年第2回釧路広域連合議会 10月定例会 質疑・一般質問通告一覧表

順位	月日	議席番号・発言議員	通 告 内 容
1	10/18 (月)	19番 工藤正志 (釧路市)	1 議案第4号 令和2年度釧路広域連合一般会計決算認定の件 (1) ごみ発熱量改善資材の状況について 2 釧路広域連合清掃工場のCO <sub>2</sub> 削減 (1) 直近3年分のCO <sub>2</sub> 排出量

釧路広域連合議会議席表（コロナ対応）

令和3年10月

4	高弥生	高砂	6	山公德	吉徳	12	木敏博	13	松慶子	14	大拓也	15	草守之	16	松和	17	秋田慎一	18	岡遼	19	工藤正志	20	宮田団	21	松永征明		
弟子屈町		白糠町		鶴居村		厚岸町		釧路町		釧路市																	
3	高正秀	5	立石巧	8	桂川実	10	川村真一	11	伊尚	11	東悟																
1	吉保博	2	及川浩	7	音喜多政東	9	中田磨																				
議会事務局（釧路市）		議会事務局（釧路市）		議会事務局（釧路市）		議会事務局（釧路市）		副広域連合長（鶴居村長）		副広域連合長（大石正行）		副広域連合長（白糠町長）		副広域連合長（厚岸町長）		副広域連合長（若狭 靖）		副広域連合長（徳永哲雄）		副広域連合長（木村淳一）		副広域連合長（入江義信）		副広域連合長（報名大也）			
監委		査員		事務管理者		広域連合長		壇		演																	
（田中敏也）		（伴 篤）		（報名大也）		（小 茂）		（大石正行）		（若狭 靖）		（徳永哲雄）		（若狭 靖）		（徳永哲雄）		（徳永哲雄）		（徳永哲雄）		（徳永哲雄）		（徳永哲雄）		（徳永哲雄）	

## 令和3年第2回10月定例会議事経過

会期	年月日	曜	区分	内	容
1	3. 10. 18	月	本会議	開会 議席指定 会期の決定 提案説明 質疑・一般質問 表決 閉会	13:59~14:26

釧路広域連合議会会議録  
令和3年第2回10月定例会

令和3年11月発行

編集・発行 釧路広域連合議会事務局

〒085-0807 北海道釧路市高山30-1  
電話(0154)92-2002

印刷 株式会社 藤プリント  
電話(0154)22-9311